

# 平成29年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課  
 担当名：指定文化財保護担当  
 内線：6987  
 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B111	史跡埼玉古墳群保存活用事業		一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	埼玉古墳群整備費		
事業期間	平成19年度～	根拠法令	文化財保護法、文化財保護条例		挑戦項目				
					分野施策	061350 文化芸術の振興			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>本県を代表する文化遺産である史跡埼玉古墳群について特別史跡昇格や世界遺産登録を視野に入れつつ、恒久的な保存を図り、県民に適切に公開するために必要な整備を行う。</p> <p>(1) 保存整備協議会運営費 394千円                  (2) 発掘調査費 8,056千円                  (3) 埼玉古墳群現況調査費 260千円                  (4) 丸墓山古墳整備費 9,870千円                  (5) 鉄砲山古墳整備費 2,484千円</p>			<p>(1) 事業内容                  平成18年度に策定した「埼玉古墳群保存整備基本計画」に基づき、埼玉古墳群を継続的に整備する。</p> <p>ア 保存整備協議会運営費 謝金等 394千円                  イ 発掘調査費 作業員639人日、賃金・消耗品・基準点測量・重機賃借料等 8,056千円                  ウ 埼玉古墳群現況調査費 二子山古墳等の火山灰(テフラ)分析 260千円                  エ 丸墓山古墳整備費 安全対策工事一式 9,870千円                  オ 鉄砲山古墳整備費 鉄砲山古墳保存整備基本設計 2,484千円</p> <p>(2) 事業計画                  ア 保存整備協議会運営費                  調査及び整備方針について指導・助言を得るため学識経験者11名による会議を年2回開催。                  イ 発掘調査費                  二子山古墳において整備に係る基礎的なデータ収集の発掘調査を行う。埼玉古墳群の国特別史跡昇格のための総括報告書の印刷製本及び配布を行う。                  ウ 埼玉古墳群現況調査費                  二子山古墳等の時期を特定するために火山灰(テフラ)を分析する。                  エ 丸墓山古墳整備費                  古墳に登るための階段が老朽化し安全性が確保できないため、改修工事を実施する。                  オ 鉄砲山古墳整備費                  鉄砲山古墳の今後の整備に必要な保存整備基本設計を行う。</p> <p>(3) 事業効果                  県名発祥の地であり本県を代表する文化財・文化遺産である埼玉古墳群の経年変化による崩壊を防ぎ、将来にわたり保存を図るとともに、本県のシンボルとして広く県民等に公開と活用を図ることができる。</p> <p>(4) その他                  二子山古墳の調査を継続するとともに、鉄砲山古墳の保存整備基本設計に着手する。また埼玉古墳群の特別史跡昇格に必要な総括報告書の印刷製本を行い、特別史跡昇格の手続きに着手する。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 特別交付税 重要文化財等の保存等に要する経費(埋蔵文化財の発掘調査等にかかる経費)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.1人=29,450千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	21,064	国庫支出金	10,532	県 債	4,000			6,532	△4,977
前年額	26,041		13,020		7,000			6,021	